

18年度版 四国観光検定 テキストブック 修正箇所

ページ	段・行	訂正前	訂正後	備考
10	上段2行	巡礼	遍路	
	上段16行	巡礼の旅	四国遍路の旅	
	下段5行	巡礼用語・巡礼の身支度	遍路用語・遍路の身支度	
13	上段7行	橋原	ゆずはら 橋原	P34,38,65,93,262,328,329 も 同じ
14	5行	巡礼の旅	四国遍路の旅	
18	4行目	すべて2006年1月現在の	一部を除き2007年4月現在の	
		行政区分は、2006年3月の市町村合併予定を含む。	削除	
19	タイトル下	巡礼の旅	四国遍路の旅	
21	上段20行	標高が1000m以上と	標高が1000mを超え	
22	旅のミニ知識 21行	大阪	大坂	
23	上段21行	香川県内海町	香川県小豆島町	
24	下段21行	高さ49mの灯台が…	海拔約49mの光点を持つ灯台が…	
	旅のミニ知識 5行	一族	豪族	
26	下段11行	足摺岬の東隣の千尋岬	足摺岬の西隣の千尋岬	
28	上段5行	徳島県の伊島から	徳島県の橋湾から	P98ミニ知識も同じ
29	下段13行	烏帽子岩	えぼし 烏帽子岩	
30	上段6行	祖谷溪	いよ 祖谷溪	
	上段9行	山頂にはゆるやかな平原が広がり	山頂にはゆるやかで平らな地形が広がり	
	上段15行	山頂付近の平原	山頂付近の平らな地形	
	下段3行	那賀川水系による	高の瀬峡は那賀川水系による	
31	上段9行	徳島県つるぎ町・美馬市・	徳島県美馬市・	
	下段19行	幅1.5mの	幅2mの	
32	上段15行	祀った	まつ 祀った	
34	上段10行	1000～1455mと高い	約1000～1500mと高い	
36	下段5行	延長388mを誇る四国最大の鍾乳洞	延長388mの奥深い鍾乳洞	
38	上段7行	萌芽林	ほうが 萌芽林	
40	タイトル	巡礼の旅	四国遍路の旅	
	見出し	巡礼の旅(40～63ページ)	遍路の旅	
	上段5行	屏風浦	びょうぶ 屏風浦	
	上段9行	太龍嶽や室戸岬、石鎚山などで厳しい	太龍嶽や室戸岬などで厳しい	
	上段16行	四国八十八カ所	四国霊場八十八カ所	
41	2行目	巡礼道	遍路道	
	3行12行23行	巡礼者	巡拝者	
	9行24行	巡礼	遍路	
42	2行目寺数	全24ヶ寺	全23ヶ寺	イラストの雲辺寺も削除
	上段8行	天竺(インドの霊山)を日本に移すという意味でから霊山寺と号し、1番札所にしたという。「1番さん」とよばれる。	天竺(インド)の霊山を日本に移すという意味から霊山寺と号し、1番札所にしたという。「一番さん」とよばれる。	
	上段14行	阿弥陀如来	あみだ 阿弥陀如来	
43	5行目	水不足を解消するために掘った井戸から	水不足を解消するために掘ったという井戸から	
44	下段2行	涅槃仏	ねはん 涅槃仏	
	下段19行	標高800mを超える山上にある	焼山寺山の東斜面(約800m)にあり	
45	上段12行	弥勒菩薩	みろくぼさつ 弥勒菩薩	
	下段3行	商店や住宅が連なる細道にひっそりと建つ寺	古い商店や住宅が連なる旧伊予街道沿いに建つ寺	
	下段12行	石造	石像	

46	上段3行	太子堂	大師堂	
	上段8行	四国巡礼	四国遍路	
	上段14行	寺は標高610mの山頂にあり	寺は標高610mの山頂近くにあり	
	上段16行	弘法大師が19歳の時にこの寺で行った苦行が、後の思想形成に大きく影響したという。	弘法大師が19歳の時にこの寺で苦行したことが、その著「三教指帰(さんごうしいき)」に記録されている	
	上段22行	瑞雲	瑞雲	
	下段、ミニ知識	66番札所雲辺寺及びその内容	削除	香川県(涅槃の道場)へ
48	上段14行	爪彫薬師	爪彫薬師	
	上段22行	名刹	名刹	
49	旅のミニ知識 4行	巡礼者	巡拝者	
51	上段20行	大日如来を刻んで開いたのが	大日如来を刻んで開いたといわれるのが	
52	上段13行	37番岩本寺と38番金剛福寺に次いで2番目に長い。	およそ78kmと長い。	
53	下段2行	伽藍	伽藍	
	下段14行	巡礼者	巡拝者	
	旅のミニ知識 8行	一編	一遍	
54	コラム 4行	托鉢	托鉢	
55	下段5行	延命地藏が現れた。	延命地藏が現れたという。	
56	上段21行(宝寿寺) 下段3行(吉祥寺)	「弘法大師が四国巡業で」、 「四国を巡業していた弘法大師が」	四国で修行中の弘法大師が	
	上段6行	石楠花	石楠花	
	上段10行	札所にした。	札所にしたという。	
	下段4行	霊場と定めた。	霊場と定めたという。	
	下段4行	毘沙門天	毘沙門天	
	下段10行	役行者	役行者	
57	雲辺寺を追加	涅槃の道場 - 全22ヶ寺	涅槃の道場 - 全23ヶ寺	解説文、イラストを追加
58	上段20行	菩提	菩提	
59	下段9行	建てた寺。	建てたとされる寺。	
60	上段14行	日本武尊	日本武尊	
	下段18行	法相宗	法相宗	
61	上段4行	北嶺に堂宇を建てたことに	北嶺に堂宇を建てたということに	
	上段4行	瑞光	瑞光	
	上段19行	古刹	古刹	
	上段21行	海士	海士	
	下段1行	聖観音	聖観音	
	下段5行	静御前	静御前	
	下段9行	求聞持の法	求聞持の法	
	下段11行	阿蘭梨	阿蘭梨	
	下段12行	錫杖	錫杖	
62	見出し	巡礼用語	遍路用語	
	上段6行	巡礼	巡拝	
	上段8行	巡礼形式	巡拝形式	
	下段4行5行	巡礼者	巡拝者	
	下段5行	接待	お接待	
63	見出し	巡礼の身支度	遍路の身支度	
	上段4行	巡礼	遍路	
	下段4行	霊場礼拝	霊場巡拝	
	下段8行	巡礼道具	巡拝道具	
	下段21行	巡礼	巡拝	

64	上段12行	さらに、江戸時代には四国に新たな藩体制が置かれた。徳島藩、讃岐の高松藩や丸亀・多度津藩、松山、宇和島をはじめとする伊予の8藩、そして土佐藩という諸藩が成立し、城下町が築かれた。	さらに、江戸時代には四国に新たな藩体制が置かれた。阿波の徳島藩、土佐の高知藩は一国一藩で、讃岐は高松・丸亀・多度津の3藩、伊予には松山・今治・西条・小松・宇和島・吉田・大州・新谷の8藩が分立し、それぞれに城下町が築かれた。	
	上段16行目	江戸幕府との連絡網も高札場の設置などにより整っていく。	江戸幕府との連絡網も整っていった。	
65	キャプション追加	写真の説明。	高知市内	
	イラスト		丸亀城の印は線路の下に印す。	
66	上段13行	公園内にある徳島城博物館には、蜂須賀氏の文化財などが展示されている。一説によれば、徳島市を代表する祭り・阿波おどりは、徳島城築城祝いから始まったともされる。	公園内にある徳島城博物館には、蜂須賀氏ゆかりの文化財などが展示されている。一説によれば、徳島市を代表する祭り・阿波おどりは、徳島城築城祝いから始まったともされる。	
	下段8行	吉野川流域	吉野川平野	
67	下段6行	阿波十郎兵衛屋敷文中最後尾に追加	なお、現在の建物は小松島市から移築したものである。	
68	上段14行	木偶頭	てこがしら 木偶頭	
	上段17行	藍の豪商	藍商屋敷	
69	上段7行	沿岸地域には水軍を組織して航路を軍事力により…	沿岸地域には船舶を利用して航路を武力により…	
	上段14行	戦国時代になると、海部はその軍事力を生かし阿波水軍として活躍した。	削除	
	上段16行	港町の樁泊は、阿波水軍の将・森一族が根拠地として…海域を支配していた。	港町の樁泊は、蜂須賀氏にかえられた阿波水軍の将・森一族の根拠地として…海域を支配した。	
	下段7行	太龍嶽	太龍嶽(太龍寺山)	
70	上段7行	名前の由来は空海と鯖にまつわる故事による。境内にある…金剛頂寺(室戸市)まで、巡礼寺が点在する。	名前の由来は、修行中の空海に土地の人が鯖をさしあげた故事による。境内にある…金剛頂寺(室戸市)まで、礼所が点在する。	
	下段10行	水切壁	水切瓦	
72	上段6行	子孫が住んだ建物の跡地に	子孫が住んだといわれる建物の跡地	
	上段19行	阿佐家は平国盛の子孫にあたり	阿佐家は平国盛の子孫といわれ、	
73	上段8行	玉藻	たまも 玉藻	
	旅のミニ知識 20行	「仏生山」駅から法然寺にいたる	「仏生山」駅の東、辻から法然寺にいたる	
74	上段2行	茶毘	ちび 茶毘	
76	タイトル	金毘羅宮	金刀比羅宮	
	上段12行	こんびら参り	金毘羅参り	
77	旅のミニ知識 4行	干魃	干ばつ	77,162,177,178ページも同じ
80	下段16行	広瀬幸平	ひろせさいへい 広瀬幸平	
81	上段5行	登録有形文化財	重要文化財	平成18年指定
	下段15行	伴譜の祖・山崎宗鑑が…	連歌師の祖・山崎宗鑑が…	P214中段23行も同じ
	下段20行	仁王門	二王門	
87	下段4行	流鍋馬	ながまめ 流鍋馬	
91	下段18行	月の名所と唄われる	月の名所と歌われた	
94	下段5行	ペリー来航時に幕府の旗本となり	ペリー来航時に幕臣となり	
95	上段7行	「部落解放令」を制定した	解放令の制定に向けて取り組んだ	
100	下段1行	四国八十八カ所の巡礼が	四国霊場八十八カ所の巡拝が	
	下段3行	また、奈良時代後期までの約4500首・眉山(徳島市)が詠まれている	削除	
101	上段4行	現在の藍住町に守護所を置き	削除	
	上段9行	細川氏は吉野川下流域の旧土成町	細川氏は吉野川中流域の旧土成町	
	下段12行	蜂須賀家政を18万石で	蜂須賀家政を約18万石で	
	下段17行	関ヶ原の合戦(1600)では、蜂須賀氏は生き残りのため家政は西軍に、子の至鎮は東軍につき、戦後は至鎮が家督を相続した。	関ヶ原の合戦(1600)では、蜂須賀氏は生き残りをかけて、家政は阿波を豊臣氏に返上し高野山に出家、子の至鎮は東軍につき、戦後は至鎮が家督を相続した。	

102	上段5行	タバコの 専売 によって	タバコ等の 産業 によって	
	上段7行	藍の栽培も 塩田造成 も、	藍の栽培や 塩業 が、	
	上段20行	藍 玉税 廃止を求め一揆が 計画 されるなど、藩の 独裁 的な施政に対する	藍 作税 や藍 玉税 の廃止を求め一揆が 起こ るなど、藩の施政に対する	
	中段11行	家老・ 稲田邦植 らが	家老の 稲田家 らが	
	中段17行	淡路洲本城 主 でもあった 稲田氏 の	淡路洲本城 代 でもあった 稲田家 の	
103	旅のミニ知識 15行	昭和6年(1931)年に	昭和6年(1931)に	
105	コラム 上段9行	風流	風流	
	コラム 下段6行	いずれの説も長い歴史を物語るが、確かなことは、 阿波おどり が盛んになったのが、 天正(1585) の 蜂須賀家政 阿波入国以降であると言うこと。徳島城下は……自由な民衆娯楽として花開いたという。	いずれの説も長い歴史を物語る。徳島城下は……自由な民衆娯楽として花開いたという。現在、お盆の時期には、県内各地で 阿波おどり の演舞が繰り広げられる。また、日本を代表する郷土芸能として海外でも高く評価されている。	削除と挿入
106	旅のミニ知識 9行	隠れ住んだ。	隠れ住んだとされる。	
109	上段12行	生産の歴史は 平安時代 にさかのぼり、 江戸時代 には藩の経済を	生産が 商業化 するのは、綿の栽培が盛んになる 元禄時代 で、一時は国内生産の9割以上を占め、藩の経済を	
110	下段1行目	時の 12代藩主	時の 藩主	
111	上段6行	昭和に入り、戦後を迎えると砂糖市場は輸入もの中心となり、	明治に入ると、機械による精製糖におされて、伝統的な手作りによる砂糖づくりは衰退し、	
117	下段8行	それで	削除	
118	上段15行	しんどい、疲れた	苦しい、しんどい、疲れた	
119	下段7行	「眉の如 雲居に…泊知らず」と『万葉集』にも詠まれた眉山は、	『万葉集』の「眉の如 雲居に…泊知らず」と『万葉集』の歌に名前の由来があるといわれる眉山は、	
120	上段7行		平成19年5月に、さだまさし原作の小説「眉山」が全国で上映され、徳島を舞台に繰り広げられる情感豊かな人間模様、阿波おどりの演舞が花を添えている。	追加
121	中段8行	その実績は「徳島の…	その実績は 松江 に住んだ ラフカディオ・ハーン と並べられ、「徳島の…	
	下段6行	休日には学芸員によるガイドや、セイロンソウやホッキョクグマなどへのえさやりなど、ふれあいイベントがある。	削除	
	下段4行目	熱帯 区にはトナカイ	寒帯 区にはトナカイ	
	下段20行	市街を東西に流れる	削除	
122	中段18行	園内には、 歴史博物館 や	園内には、 考古資料館 や	
123	コラム 上段4行	人形浄瑠璃は、 淡路 で生まれたといわれている。	人形浄瑠璃は、 京都 で生まれたが、 最初 に人形を遣ったのが 淡路 の人といわれている。	
	コラム 上段9行	蜂須賀家政 が…ことに始まる。 家政 は、 淡路 の	蜂須賀家 が…ことに始まる。淡路の	
126	上段21行	1938 年の映画	1939 年公開の映画	
127	上段12行	徳島 の渦潮を	鳴門海峡 の渦潮を	
129	コラム 9行	日向から 甘蔗 苗 三節 を密かに	伝承 によると日向から甘蔗苗を密かに	
131	コラム 上段15行	取り立てる 租税 で	取り立てる 運上銀 で	
	コラム 下段4行	最盛期 の 明治36 年	明治36 年	
134	中段23行	榑泊 の 居城跡 には	榑泊 には	
141	中段3行	吉野川 の 下流 に	吉野川 の 右岸 に	
142	下段3行	元和元年(1615)	寛永15年(1638)	
	下段6行	復元 された	建て られた	
144	上段2行	吉野川 北岸にある町で、北部の香川県境には、 阿讃山 地が連なり、緑豊かな…	吉野川 北岸に広がる扇状地が 平野部 を占め、北部の香川県境には、 阿讃山脈 の緑豊かな…	
145	上段20行	藍商 が建てた	商人 が建てた	
	上段22行	藍商 の屋敷	屋敷	
	中段14行	江戸時代中期	江戸時代後期	

146	中段6行	標高1000m	標高約1000m	
	下段20行	奈良法隆寺とほぼ同じ規模であったことが発掘調査から判明し	奈良の法起寺と同じ伽藍配置であったことが発掘調査から判明し	
147	中段10行	平原が広がり	平らな地形が広がり	
	旅のミニ知識 7行	安徳天皇文中 祖谷山に入る。	祖谷山に入ったと伝えられている。	
149	上段15行	播州赤穂浅野家の女性で、	播州の女性で、	
151	下段16行	約800年前	東祖谷の名頃にあり約800年前	
	旅のミニ知識 2行	三好市池田町	三好市山城町	
152	上段17行	祖谷地方を制圧した	祖谷地方に勢力を持った	
	中段2行	「平家屋敷」文中 削除 「武家屋敷喜多家住宅」文中最後に挿入	すぐ隣の鉾神社境内には、……県の天然記念物に指定。	
	中段7行	現在、平国盛の子孫である阿佐家の……	現在、阿佐家の……	
	下段10行	神官を務めた。	神官を務めたという。	
	下段17行	平家の残党が身を潜めた祖谷にあるかざら橋。	平家の残党が身を潜めたと伝えられている祖谷にあるかざら橋で西祖谷山の善徳にある。	
154	上段7行	吉野川を望む	三好市三野町の吉野川を望む	
	コラム上段 5行	壇ノ浦の合戦	屋島の戦い	
155	上段19行	1019m、ゆるやかなスロープが続く高原	1019mの旭ヶ丸北斜面に広がる高原	
	中段13行	四国霊場札所をはじめ卑弥呼伝説にまつわる神社や	四国霊場札所をはじめ伝統のある神社や	
	下段13行	地元の人々	人々	
156	上段18行	標高700mの山頂にある	標高700mの斜面にある	
	上段18行	邪馬台国の女王卑弥呼の……今に伝える史跡が残る。	(削除)	
157	上段10行目	1977年に	2004年に	
	中段6行	林道の起点にある温泉	林道の起点付近の福原にある温泉	
	下段23行	標高1525mの高城山の登山口である	標高1525mの高城山登山口である	
	旅のミニ知識 22行	八十八カ所巡礼	八十八カ所巡拝	
160	上段10行	瀬戸内海海上	瀬戸内海	
	上段13行	1年中太陽に恵まれ	晴天に恵まれ	
	中段3行	阿讃山地	阿讃山脈	
	中段10行	海岸低地が盛り上がった洪積台地	地盤の上昇に伴って段丘化した洪積台地	
	中段13行	埋め立てて	せき止めて	
161	下段14行	太陽に恵まれた明るい気候は	晴天に恵まれた温暖な気候は	
	下段17行	山地も低いため	山も低いため	
	下段20行	約2万個もの溜池がつくられてきた。	約1万4千個もの溜池がつくられている(平成12年調査)。	
	下段22行	ダムが造設され、	ダムが築造され、	
	旅のミニ知識 12行	徳島県池田町	徳島県三好市池田町	
162	上段14行	1万年前	2万年前	
	上段15行	仁尾町	三豊市仁尾町	
	上段16行	砂弥島遺跡	沙弥ナカンダ浜遺跡	
	中段8行	に始まり、善通寺市に生まれのちに真言宗	に行われており、真言宗	
	中段211行	平安初期	平安前期	
	下段3行	陥落(天慶3年/940)したものの	侵攻(天慶3年/940)されたものの	
	下段9行	亡骸	なきがら 亡骸	
	下段16行	源氏を討って大躍進をとげる	源氏を討って権力を握る	
163	中段24行	近代社会	近世社会	
	下段23行	丸亀藩に加えて	丸亀藩の分藩として	
	旅のミニ知識 15行	大負を喫し	大敗を喫し	

164	上段2行	こんびら参り	金毘羅参り	
	上段4行	文化・文政(1804～1830)	文化・文政(1804～1829)	
	中段5行	庶民の一大レクリエーションとして流行した。	庶民の信仰心から生じた一大娯楽であった。	
165	上段9行	金丸座	「金丸座」	
	中段15行	豊浜八幡神社、一宮神社、神田神社などに	一宮神社に	
	中段20行	ちょうさ	「ちょうさ」	
166	中段6行	国指定有形民俗文化財	国指定重要有形民俗文化財	
	下段16行	本格的な歌舞伎劇場	本格的な芝居小屋	
	下段17行	金比羅参り	金毘羅参り	
	下段20行	当時の東京・大阪・京都など	江戸・大坂・京など	
168	上段19行	香川県産の麦	香川県産の小麦	
	中段8行	瀬戸内海がだしに使われるイリコ(煮干し)の原料であるカタクチイワシの宝庫だったことも	だしに使われるイリコ(煮干し)の原料であるカタクチイワシ漁が盛んであったことも	
169	上段13行	抜いたごはん	抜いたずし飯	
	中段20行	醤油と砂糖を合わせ、	水、醤油、砂糖を合わせ、	
170	中段13行	白味噌、砂糖と合わせ、	白味噌、酢、砂糖と合わせ、	
	下段15行	イリコ(煮干し)を炒った上にゆでてアク抜きしたマンパを入れて炒め、油揚げ、豆腐を加えてさらに炒めて、	ゆでてアク抜きしたマンパと油揚げ、豆腐を炒め、イリコ(煮干し)を加えて、	
	下段21行	しっぽく料理	精進料理	
174	上段7行	瀬戸内式気候	瀬戸内海式気候	
177	上段17行	八兵衛が讃岐生駒藩家臣	八兵衛が讃岐生駒藩客臣	
	中段2行	高松市の新池周辺は	香川町の浅野地区周辺は	
	下段4行	伝説や民話	伝説や昔話	
	下段5行	県内最大級	県内最大	
178	上段9行	顛末	てんまつ 顛末	
	中段14行	悪行三昧	悪行三昧 <small>まい</small>	
	下段15行	暖簾	のれん 暖簾	
181	下段11行	作家の作品を展示コーナー、	作家の作品の展示コーナー、	
183	上段6行	讃岐山地	阿讃山脈	
184	上段13行	ギリシャ	ギリシア	
	中段13行	花菖蒲	はなしょうぶ 花菖蒲	
	中段18行	佃煮	つくねに 佃煮	
185	上段3行	苗羽	のうま 苗羽	
	上段22行	星ヶ城	星ヶ城山	
186	上段14行	ギリシャ風車	ギリシア風車	
	中段18行	築90年のもろみ蔵は、国の有形文化財に登録されている。	国の登録有形文化財に登録されている。	
187	上段14行	有形民俗文化財	重要有形民俗文化財	
	中段1行	指定された。	選ばれた。	
	中段16行	豊島	てしま 豊島	
188	上段12行	皿回し式舞台	回り舞台	
189	中段6行	鞘橋	さやばし 鞘橋	
	中段19行	四国一高く、	(削除)	P190ミニ知識も同じ
	下段7行	5代頼恭	松平藩5代頼恭	
	下段16行	芙蓉沼	ふようしやう 芙蓉沼	
190	中段2行	竪穴式住居	竪穴住居	
192	中段1行	重要有形文化財	重要有形民俗文化財	

195	下段18行(ふりがな)	つぎのぶ	つぐのぶ	
196	中段7行	弓を拾い上げた。	弓を拾い上げたといわれている。	
	中段19行	壇ノ浦	壇ノ浦	
197	上段8行	設備されて	整備されて	
	中段3行	龍神が	龍が	
198	上段7行	町内東谷地区の	香川町東谷地区の	
	下段23行	国分寺の寺地で	史跡整備のため	
	下段25行	金堂	鐘楼	
199	上段6行	1万7600㎡の寺域全域	現国分寺を含む範囲	
	中段11行	寺	神社	
	旅のミニ知識 8行	恐竜とともに	(削除)	
200	上段10行	県無形文化財、	(削除)	
202	下段8～20行、旅のミニ知識「飯野山」「朝鮮式山城」	城山城跡の項目	(P204の坂出市へ移動)	
205	上段11行	僧行社	かいこうじや 僧行社	
	上段16行	木造瓦吹き	木造瓦葺きの	
	中段24行	弘法大師の生誕地、	弘法大師の生誕地とされる、	
	下段10行	の山麓	(削除)	
	下段12行	窪地	高所	
	下段19行	横穴式石室は県下最古の	県下最古級の横穴式石室をもつ	
206	上段14行	豊か清流	豊かな清流	
	中段9行	無形民俗文化財	重要無形民俗文化財	
207	中段5行、15行、20行	讃岐山脈	阿讃山脈	P212上段16行も同じ
	下段17行	空海が築いた	空海が修築した	
209	上段9行	神仏混淆	神仏 <small>こんぶつ</small> 混淆	
	中段11行	ことでん	高松琴平電気鉄道	
	下段17行	京都	京	
210	上段5行	奈落	ならく 奈落	
211	中段22行	大久保謙之丞	大久保謙之丞 <small>じんのじょう</small>	
	下段19行	こんびら参り	金毘羅参り	
212	上段9行	金比羅街道	金毘羅街道	
	中段17行目	はやしきゅうまてい	はやしもとめてい	
	中段19行	多度津京極家の藩の家老	多度津京極家の藩家老	
	中段21行	多度津京極藩	多度津藩	
	中段22行	主高典	主京極高典	
	下段13行	浦集落は、「重要伝統的建造物群」として保存地区の指定を受けている	(削除)	
215	上段4行	巡礼者	巡拝者	
	中段1行	ボダイジュは香川県指定とともに町の天然記念物、ラカンマキは町の天然記念物に指定されている。	ボダイジュは香川県の保存木に指定され、ラカンマキは市の指定文化財(天然記念物)に指定されている。	
216	上段22行	燧灘	ひうちなだ 燧灘	
	下段9行	磨崖仏	まがいぶつ 磨崖仏	
	下段22行	庄内半島西側	庄内半島西側	
218	下段1行	香川県の西部、古三野津湾の最も奥まった地点に……造営実態や中央と地方のつながりを示すものとして注目を集めている。窯跡の数は日本で最多の23基。	香川県の西部、かつて広がっていた古三野津湾の最も奥まった地点に……造営実態や中央と地方のつながりを示すものとして注目を集めている。窯跡の数は日本で最多の22基。	
	下段18行	陸繋島	りくけいとう 陸繋島	
	下段25行	紺碧	こんぺき 紺碧	
	旅のミニ知識 24行	広大な	(削除)	

219	下段4行	庄内半島	庄内半島	
222	上段11行	西にはリアス式の	西南部にはリアス式の	
	中段2行	久万	くま 久万	
	中段15行	湿潤な季節風	北西の季節風	
225	下段8行	天文20年(1551)	弘治元年(1555)	
	旅のミニ知識 17行	大友義隆	大内義隆	
226	旅のミニ知識 11行	親交が深める。	親交を深める。	
230	上段21行	四国四大踊り	四国四大祭り	
249	コラム 下段5行	食禄14石の下級武士	俸禄14石の下級武士	
	上段3～11行	施設差し替え「セキ美術館」削除「坂の上の雲ミュージアム」追加	司場達太郎の小説「坂の上の雲」ゆかりの品々を紹介するミュージアムとして、平成19年4月、松山城の麓、萬翠荘の隣にオープン。小説の舞台となった幕末から明治時代の様子を写真、パネル、映像等の数々の資料で紹介。地上4階建て三角柱の建物は、バリアフリー対応で安藤忠雄氏の設計による。	
250	中段21行～下段5行	施設差し替え「風早の郷 風和里」削除「伊丹十三記念館」追加	映画監督、俳優、エッセイストなど様々な分野で多彩な才能を發揮した「伊丹十三」の記念館が、平成19年5月にオープン。伊丹十三の足跡を具体的な資料でたどることができる「常設展示室」や毎回独自のテーマを設けて展示する「企画展示室」のほか、カフェなども設置。	
268	上段11行	日本で初めて	竜串海中公園とともに日本で初めて	
280	上段7～14行	能島潮流体験 文章の変更	国指定史跡の「能島」周辺を周り、日本有数の潮流を間近で体験することができる。宮窪瀬戸の潮流は、最大10ノットで、潮の満ち引きにより様々な表情を楽しむことができる。棧橋横の魚食レストランでは、新鮮な海の幸が味わえる。	
286	上段4行	たてよりわけ(建依別のふりがな)	たけよりわけ	
287	上段11行	土佐文化の中心として栄えるが、足利尊氏が	土佐文化の中心として栄える。また、足利尊氏が	
	下段6行	岡豊 城	おごう 岡豊 城	
	下段14行	一條兼定も豊後国	一條兼定を豊後国	
288	上段12行	一豊は大高坂城の	一豊は大高坂山の	
	中段5行	禄高に応じて兵役を課すといった懐柔策も行い…	禄高に応じて厚遇するといった懐柔策も行い…	
	中段17行	幽閉のまま	(削除)	
	下段14行	中心する「土佐勤王党」	中心とする「土佐勤王党」	
292	中段15行	屋台も出展し	屋台も出店し	
	中段19行	三嶋神社を勧請して	三嶋神社を勧請して	
	下段11行	乙女が、当代藩主	乙女が、二代藩主	
293	上段17行	包丁の腹でたたいて	包丁の背でたたいて	
296	上段19行	らでは種類がそろっている。	らではの種類がそろっている。	
301	上段1行	南国市では後川でも、毎年	南国市の後川では、毎年	
	上段12行	それを知った鬼が島の鬼たちは	それを知った島の鬼たち	
	上段25行	が、とうとう烏帽子岩になってしまう。	が、烏帽子岩になってしまった親鬼をとうとう見つけることができなかった。	
306	旅のミニ知識 26行	敵対心を募らせ	敵愾心を募らせ	
307	下段13行	はりまや市	はりまや市(旧 中種商店街)	
308	上段1行	ふるさと交流バザール土曜市	(削除)	
	中段14行	越えるテナントが入る。	超えるテナントが入っている。	
318	上段5行	おうむのはま	おうなしのはま	
319	下段11行	花崗岩大地が、沈隆と隆起を	花崗岩大地が、沈降と隆起を	
320	下段16行	ペリー来航で旗本として召し抱えられ	ペリー来航時には幕臣として召し抱えられ	
323	下段20行	沖ノ島	沖の島	
328	中段5行	東西約20km	東西約25km	
333	下段8行、16行	みむね(三嶺のふりがな)	みうね	

334	下段2行	残る。米の二期作や	残る。戦前は米の二期作や	
353	中段18行	を運行し、高松駅、松山駅では	を運行し、高松駅、松山駅、高知駅、徳島駅では	
360	索引	小豆島町...178、184	小豆島町...23、178、184	
362	索引	内海町...23	(削除)	